

第5回 文京区医師会

「区民のためのコンサート」



演奏 文京区医師会音楽部

指揮 大津三男

2018年7月1日(日)

開場13時 開演13時30分

全席自由：入場無料

不忍通りふれあい館 文京区根津2-20-7

後援 文京区

第5回 文京区医師会「区民のためのコンサート」の開催にあたって

文京区医師会会長 金 吉男

第5回「区民のためのコンサート」開催に際し、一言挨拶申し上げます。本日は「区民のためのコンサート」にご参加いただき誠にありがとうございます。

文京区医師会の音楽部は、日頃皆様の身近なかかりつけ医として健康管理に努めている医師会員、歯科医師会および薬剤師会会員、さらには近隣大学病院の先生方や医学生などで構成されております。診療後や休日に練習を重ね、毎年「夏季会員懇親会」「クリスマスコンサート」「区民のためのコンサート」等で1年を通して演奏活動をしております。

今回も、皆様の心の健康にお役立ちできるような演奏をしてくれるものと思います。どうぞ最後までお楽しみいただければ幸いです。

ごあいさつ

文京区医師会音楽部部長 山崎 瑞樹

本日は文京区医師会音楽部の「区民のためのコンサート」にお越しいただき、本当にありがとうございます。さて皆様に楽しんで聞いて頂こうと企画したこのコンサートも、早5回目となります。曲も去年に引き続きクラシックばかりではなく、ポップスも含めた幅広いレパートリーでお届けいたします。初めてクラシックのコンサートにいらした方にも、どこかで聞いたことのある曲を中心に退屈しないで最後まで聞いて頂けるよう団員皆で練習してまいりました。いつも通っているクリニックや薬局スタッフの、いつもと違う顔を発見して楽しんでいただけたらと思います。では皆様、最後までごゆっくりお楽しみください。

プログラム

日時:2018年7月1日(日) 午後1時30分開演

場所:根津ふれあい館 入場無料

I部 1時30分～

<木管アンサンブル>

1. 大きな古時計
2. 鳥の人

レンリー・クレイ・ワーク / ショパン 高橋 宏樹 編曲
久石 譲 辻 峰拓 編曲

<弦楽アンサンブル>

3. ジ・エンタテイナー

スコット・ジョプリン

<金管アンサンブル とりんか～>

4. 笑点のテーマ
5. コッツウォルズの風景
6. 世界に1つだけの花

中村八大
広瀬勇人
槇原敬之

<弦楽アンサンブル>

7. 舞台管弦楽のための組曲より第2ワルツ

シヨスタコーヴィチ 鹿野裕美子 編曲

<吹奏楽アンサンブル>

8. 「ハリーポッター」のテーマ
9. 「ミッションインポッシブル」のテーマ

ジョン・ウィリアムズ
ラロ・シフリン

<弦楽アンサンブル>

10. 弦楽四重奏曲第17番「狩」より第1楽章
11. ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」 第1楽章・第3楽章

モーツァルト
ヴィヴァルディ

———— 休憩(20分) ————

II部 2時50分～

12. バレエ音楽「白鳥の湖」

チャイコフスキー

- 1 情景(第2幕)
- 2 ワルツ第1幕)
- 3 乾杯の踊り(第1幕)
- 4 情景(第3幕)
- 5 スペインの踊り(第3幕)
- 6 ナポリの踊り(第3幕)
- 7 情景.終曲(第4幕)

出演者 指揮	大津三男
ヴァイオリン	植松優 奥山美樹 木村浩子 久保さやか 斎藤文洋 染谷祐二 野口律子 橋本伸子 舟川開 松井丈迪 宮内洸 山崎玲子 山本康太
ヴィオラ	飯田利博 小川涼子 山崎瑞樹
チェロ	木村俊運 福馬伸章 吉田愛
コントラバス	坂口正巳
フルート	大貫明 遠山愛
ピッコロ	澤田雅子
オーボエ	都丸充子
クラリネット	田部典子 西垣明子
サクソ	岩瀬一 万徳彩乃
ホルン	田子未郷
トランペット	大野詩織 八木茂 吉井元章
トロンボーン	かわだけいこ
ユーフォニアム	櫻井美帆
ピアノ	近藤和喜夫 永井由香 山道紀子
パーカッション	木村美和子 近藤和喜夫 山道紀子

<< 曲目のご紹介 >>

1. 大きな古時計

フルート：大貫明 オーボエ：都丸充子 クラリネット：西垣明子
ユーフォニアム：櫻井美帆 ホルン：田子未郷

みなさんご存知の切ない歌詞ときれいな旋律で有名な大きな古時計を木管五重奏で演奏させていただきます。今回は、歌詞に出てくるおじいさんと古時計のお別れにちなみ、曲の途中ところどころに「ショパンの別れの曲」の旋律が散りばめられた編曲となっています。

金管楽器が2つも入っているメンバー編成ではありますが、しっとりと優しいハーモニーを奏でたいと思います！

2. 鳥の人

ジブリ映画「風の谷のナウシカ」のエンディングテーマ曲「鳥の人」

風に乗り、王蟲と心を通わせ、自然と共に生きる少女ナウシカ。 人間同士の争いに巻き込まれながらも、たった一人の力でこの未来の地球を救うために立ち上がり、溢れる優しさに輝いたナウシカの愛と勇気の物語。ジブリらしいハーモニーを木管5重奏のやわらかな響きでお楽しみください。

3. ジ・エンターテイナー

弦楽器奏者全員

1970年代の映画「スティング」のテーマ曲でも知られる「エンターテイナー」は、ウキウキするリズムカルな旋律が特徴です。作曲はアフリカ系アメリカ人のスコット・ジョブリン。彼は酒場で演奏するピアニストで「ラグタイム王」と呼ばれました。ラグタイム(ragtime)とは、シンコペーションを多用し、クラシック音楽のリズムとは違う「遅い、ずれた」音楽スタイルです。

踊り出したくなる躍動感、何度も聴きたくなる親しみやすさは多くの人を熱狂させたことでしょう。

4. 笑点のテーマ

《とりんか〜》

私たちは、金管六重奏の『とりんか〜』です。名前の由来は、格調高く、ドイツ語のTrinkerから取りました。意味は……お調べください♪

トランペット：大野詩織 八木茂 吉井元章 ホルン：田子未郷
トロンボーン：かわだけいこ ユーフォニアム：櫻井美帆

今日は日曜日です。そして、夕方のテレビ番組と言えば笑点ですね。この番組は、昭和41年に始まりました。番組は、後楽園ホールで収録していますので、文京区ともゆかりが深いです（無理やり）。

作曲者の中村八大は、「上を向いて歩こう」「遠くへ行きたい」など数々のヒット曲を世に出しています。

「笑点のテーマ」は楽しい曲ですが、実は楽譜は難しいのです。

「山田君、1枚取って！」と言われたいよう、がんばります！

5. コッツウォルズの風景

作曲者がロンドン郊外の標高300m以上の丘陵地帯「コッツウォルズ」地方を訪れた際の印象を基に作曲した曲です。ロンドン自体が北海道よりも北にあるので、かなり清々しい地域だと思われます。

初演は、平成21年。曲は三つの部分から構成されていて、「川辺で戯れる子どもたちとそれを見守る家族」、「どこまでも続く緑の丘」、「収穫期の田園風景」を描いています。私たちメンバーも、この曲が大好きです。

6. 世界に一つだけの花

惜しまれながら解散してしまった SMAP の 35 枚目のシングルとして、平成 15 年に発売され、300 万枚以上の売り上げた大ヒット曲です。シンガーソングライター槇原敬之の作詞作曲です。

この曲は、音楽の教科書のみならず、道徳、英語の教科書にまで載っているというから驚きます。

歌詞を覚えている方は、ぜひ一緒に

♪『花屋の店先に並んだ いろんな花を見ていた……No. 1 にならなくてもいい もともと特別な Only one』

7. 舞台管弦楽のための組曲より第 2 ワルツ

弦楽器奏者全員 ドラム：山道紀子

この曲はしばしばジャズ組曲第 2 番のセカンドワルツとも言われますが、実はジャズ組曲 2 番とは別の曲。1950 年台に書かれたとされます。全 8 曲からなる組曲のうち第 6 曲のセカンドワルツは特に有名で、吹奏楽やピアノ独奏曲にも編曲されており、映画の主題歌にもなっています。

今回は弦楽中心に編曲された版をお届けします。和声も旋律も親しみやすい、移動するサーカスの一群を彷彿とさせる憂えた美しいメロディーをお聞きください。

8. 「ハリーポッター」のテーマ

9. 「ミッションインポッシブル」のテーマ

フルート：大貫明 澤田雅子 遠山愛 オーボエ：都丸充子 クラリネット：田部典子 西垣明子

ホルン：田子未郷 テナーサクソ：万徳彩乃 バリトンサクソ：岩瀬一

ユーフォニアム：櫻井美帆 トランペット：大野詩織 八木茂 吉井元章

トロンボーン：かわだけいこ ピアノ・パーカッション：近藤和喜夫 山道紀子

今回皆様には、映画音楽 2 曲をお届けしようと思います。

まず最初の曲はハリーポッターのテーマです。ハリーポッターのシリーズは J.K. ローリング原作のシリーズの映画化です。映画は、シリーズどれもが大ヒットしましたが、その映画の始まりはいつもこのテーマで始まります。作曲は映画界の巨匠、ジョン・ウィリアムズです。さらに、昔テレビドラマで放映されていた、アメリカドラマ、スパイ大作戦の映画化作品のミッションインポッシブルもお届けします。これも、燃えよドラゴンなどの曲を作曲した、ラロ・シフリンです。

いずれも、楽しんでいただけたらと思います。さあ、映画の世界へようこそ

10. 弦楽四重奏曲第 17 番変ロ長調 K. 458 『狩』より第 1 楽章

弦楽器奏者全員

モーツァルトの弦楽四重奏曲の中で最もポピュラーな作品であるこの「狩」は、聴く者の気分を高めるような冒頭の主題が印象的な作品です。

狩りに際して鳴らされるラッパの信号に聞こえることから、「狩」という愛称で親しまれています。

モーツァルトらしい軽快さと、その親しみやすいメロディー、古典派らしい高雅な雰囲気、そして交響曲のようなスケールの大きな曲ではなく、弦楽四重奏という程よいスケールが、調度良い BGM となる人気の理由となっています。今日は弦楽合奏でお贈りします。

1 1. ヴァイオリン協奏曲集《四季》より「春」 第1楽章・第3楽章

ヴァイオリンソロ：植松優 弦楽器奏者全員

「春」は、喜びにあふれたイタリアの春の情景が、詩と音楽によって表現されています。

第1楽章冒頭の心浮き立つメロディーは春の生命力の喜ばしさを描いています。3本のヴァイオリンがトリルを多用して小鳥たちが鳴き交わす様子を、続いて全楽器で小川の流りが描写されます。突然激しい音楽となり春の嵐が襲ってきます。ソロヴァイオリンのきりきりした音楽に稲妻と雷鳴が鮮やかに描かれています。

嵐が去り再び小鳥達が陽気に歌います。

第3楽章は羊飼いたちがバグパイプに合わせて陽気に踊る様子を表現しています。

ソリストに東京芸術大学3年生の植松優さんをお迎えし、演奏していただきます。

植松さんは第10回ルーマニア国際音楽コンクールでの受賞をはじめ、国内のコンクールにおいても受賞歴があり、病院・養護施設・老人ホームなどで演奏活動に取り組んでおられます。

1 2. バレエ音楽「白鳥の湖」

全員

チャイコフスキー以前のバレエ音楽は踊り手のための伴奏でしたが、チャイコフスキーは音楽によって登場人物の心の動きを生き生きと描きバレエにおける音楽の芸術的水準を大きく向上させました。

「第一幕」 とあるお城（本日の演奏は2番ワルツ・3番乾杯の踊り）

王子ジークフリートが友人達と成人式を祝っています（ワルツ、乾杯の踊り）。

母から明日の舞踏会で妃を選ぶよう命じられますが気が進みません。遠くに飛んでいる白鳥の群れを見て鳥狩りを思いつき湖へ向かうことにします。

「第二幕」 静かな湖畔（本日の演奏は1番情景）

白鳥狩りに出かけた王子は森の湖で白鳥たちが美しい女性に変身するのを目撃します（情景）。

ひととき美しい娘オデットに一目ぼれしてしまいます。オデットは、「自分は魔法をかけられており、魔法を解くには永遠の愛が必要だ」と伝えます。王子は愛を告白し、明日王宮で行われる舞踏会に来るよう誘います。情景はこのバレエで最も有名な曲。オーボエのソロで始まります。

「第三幕」 舞台は翌日の城の大広間（本日の演奏は4番情景・5番スペインの踊り・6番ナポリの踊り）

舞踏会には花嫁候補が次々と集まり、舞踏会の始まりを告げます（情景）。

そして各国の踊りが繰り上げられます（スペインの踊り、ナポリの踊り）。

そこへ魔法使いが、娘オディールを連れて現れ、王子はオディールをオデットだと信じ、結婚を申し込んでしまいます。窓辺に王冠を載せた白鳥（オデット）の姿が見え王子は自らの間違いに気づき森へ走っていきます。スペインの踊りはカスタンネットなども加わったボレロのエキゾチックなリズムが一貫して続く楽しい曲です。ナポリの踊りは トランペットが軽快なカンツォネッタを奏でます。後半はプレストのタランテラ舞曲です。

「第四幕」 寂しい湖畔（本日の演奏は7番情景・終曲）

湖に戻ってきたオデットに対し王子は自分の愚かさを謝罪し、再び愛を誓いますが、オデットは許すことができません。

そこへ魔法使いが現れ「一度愛を誓ってしまった王子には魔法は解けない」と告げます。

それを悲観したオデットは湖に身を投げ、王子も後を追って湖の中に消えていきます。

静かになった湖に白鳥たちの群れが再び現れます。

情景・終曲は雄大で悲壮感に満ちた旋律。金管が白鳥の主題を力強く情熱的に奏で二人の死を超えた愛の力が悪魔を征服したことを暗示しています。最後に高音の弦とハーブが美しいトレモロを演奏し、平和な世界が戻ってきます。管楽器の和音が折り返し重なってきて重厚な雰囲気の中で全編の幕となります。